

## 無作為抽出意見交換会 まとめ

1. 実施の目的 参加者に事業をしっかりと理解していただくとともに、主だったテーマについてご意見等をいただくことを目的とし、いただいた意見を今年度策定を予定している『基本計画』やその後にしっかりと取り入れていくことをゴールとする。
2. 実施日 令和6年11月9日（土） 午前9時～午後4時
3. 参加人数 46名（町民30名、別荘所有者13名、その他3名）
4. 意見数 303件（直接聴取221件 付箋82件）
5. 意見の傾向 いただいた意見をカテゴリー分けしたところ、**庁舎の機能・規模**（39件）、**公民館機能拡充施設**（75件）、**建物・外構等**（35件）、**事業全般**（52件）が特に多かった。

**庁舎機能**については、職場環境・労働環境の改善は町民サービスに直結すること、DXに期待する声が多かった。

**公民館機能拡充施設**については、施設の設置の意義や必要性に対するもの、建物の議論の前にソフト面の検討をしっかりとすべきといった意見が多かった。

**建物・外構等**については、外構、外観に関するものの他、環境に対する意見が比較的多かった。

**事業全般**については、テーマとして設定したことも影響しているが、既存施設の有効活用についての意見が多かった。また、軽井沢らしさについて様々な意見があった。

全体的な感触としては、参加者のほぼ全員がこれまでの本事業における住民との対話に関わりのない状態での初参加ということであったが、しっかりと学習の時間を取ることで一定の理解をしていただけたと思う。また、特に別荘所有者と意見を交換する場がこれまでなかったため、別荘所有者ならではの意見をいただけたという点も大きな収穫であった。参加者のアンケートからは、町として検討が不足している部分の指摘はあるものの、年代も立場も違う中でよい機会だったとの意見を多数いただいております、総じて参加者の満足度は低くなかったと捉えている。

整備方法については、直接的な議論はあまりなされなかったが、公民館を残す(改修する)価値が見いだせないという意見が数件あった。